

洋書輸入協会会報

VOL. 14

NO. 1

(通巻153号) 昭和55年1月

謹んで新春の

お慶びを申し上げます

昭和55年元旦



理事長 飯泉新吾

イラン政変に端を発した石油事情の緊迫によって、昨年は第二次石油危機を招き、世界的な経済環境の悪化を余儀なくされました。

特に、原油価額は6月のOPEC総会で決められた上限価額を無視した大幅な値上げによって、輸入国のインフレ傾向が一段と増進し、各国ともその抑制策を打ち出すなかで、世界的高金利の時代を迎えた観があります。

なかでも、石油需要の99.8%を輸入に依存するわが国

経済にとって、まことに重大な問題といわざるをえない。これに加え更に原材料を中心に引き続く輸入増加が、経常収支の大幅な赤字をもたらして、53年10月31日に記録した1ドル=175円の円高も、昨年の第3四半期には、一転して1ドル=250円台の円安(43%)を招きました。

旧臘17日から、ベネズエラの首都カラカスで開かれたOPEC第55回定例総会でも値上げを1バーレル24ドルで抑えようとするサウジ・アラビアなどの穏健派と、34-5ド

新年ご挨拶 理事長 飯泉新吾..... 1	Book Review No64 5	通関統計..... 7
新年ご挨拶 USACO取締役社長 山川隆雄 2	海外ニュース..... 5	おしらせ..... 7
理事会報告..... 3	外国出版社紹介 No67..... 6	総代理店ご案内..... 7
通関委員会だより..... 4	来日外人名簿..... 7	広告 丸善株式会社..... 8

ルを主張するリビア等の強硬派が、互にゆずらない状況でありましたが、新年を迎えた現在では、どう結着がついたでしょう。いずれにしても、円安の要因はさらに濃くなるものとみななければなりません。1オンス800ドルを超えた金価格の史上最高記録も、これを裏づける証左と考えるべきです。

このような環境のなかで、ますます複雑化する市場要件に加え、一段と激化を予想される業者間競争のゆくえは、果たしてどんな結末を告げるでしょう。みかたによれば、これが独禁法の意図する——自由競争によって国民経済に寄与させよう——とする理想かも知れません。

しかしながら、際限のない業者間競争は自滅を招くこともまた真実です。このへんで正しい意味での自衛を目ざしての“競争の限界”について探究することも、決して無駄ではない、と思います。

知識産業の担い手を以て自ら任ずるわが洋書輸入業者の理想——日本文化の発展に貢献する社会的使命——業界の存続と繁栄——をどのようにして具現するか、これが業界の英知であり、本年度最大の課題であると思います。

簡単ながら、以上を以て新年のご挨拶にかえる次第です。

新年あけましておめでとうございます。

日本経済が高度成長段階にある時、「アメリカがクシャミをすると日本が風邪をひく」とよく言われたものです。しかし低成長の現在は、正に「アメリカ」が「イラン」に置きかえられようとしています。それだけ世界が狭くなりつつあると感じると同時に、世界各国間の一体感を強く感じるこの頃です。

さて、1979年は波乱に富んだ激動の年であり、その余波はまだ揺れ動いています。イラン革命を契機におこった石油不足、更に誰も予想しなかった大幅な円安。それによって当協会員は、かつて経験したこともない大打撃を被りました。この1年ほど努力・忍耐力・精神力・判断力等が求められた年はなかったと言えましょう。

一方、インフレの進行による外貨の値上りは、図書予算を圧迫し、従って、健全経営なうるに及ばない営業活動を余儀なくされました。為替の乱高下と相まって実に苦難の年でした。

顧みるに、1ドル360円の固定相場時代は、会員が銘々の市場及び商品の拡販活動に努めれば企業責任を果たすことができました。しかし今日のように円相場が猫の目の

株式会社 ユー・エス・エシアテックカンパニー
取締役社長 山川隆雄

ように変動するに至っては、他の流通業界同様、為替のリスクを覚悟した厳しい企業活動が求められるのです。

当会報に“来日外人名簿”が掲載されているのをご存知だと思います。毎年、非常に多くの方が来日し、日本におけるマーケットを拡大すべく努力しています。このことが将来のビジネスのあり方にも少なからず影響を及ぼすものと考えます。つまり、海外出版社との直接取引が増加するのではないかと、海外資本の進出があるのではないかと等、洋書輸入にも刻々変革の時期が迫っております。

では我々の生きる道は何か。大多数のユーザーは、きめの細かいサービスを求めており、現行の図書館を中心としたセールスマンシステムには当分の間変更はあり得ないと言えましょう。この意味において、むしろより密度の濃いセールスマンシステム、すなわち量より質の向上をめざすことによってのみ私達の生き残る道があるように思えます。

日本経済を支える花形企業、自動車、家電製品は、その高い品質で世界で広く認められたように、我々の販売

しているのは洋書ではなく質の高いサービスであること
を地道にお客様に理解していただくことが、当業界の発
展につながると確信致します。これが日本経済と文化の

発展に当業界の果す役割りを大きくしていくことと信じ
ます。1980年代は一層の飛躍を大いに願っております。

理 事 会 報 告

11月12日（月）

- (一) 10月分収支計算・予算対比表の検討。総務委員会の報告を承認。
- (二) 定期刊行物に標準決済の適用をうけるため通商産業省貿易局長あて「年間契約定期刊行物の輸入代金決済について」と題する11月14日付け陳情書を提出したいという通関委員会の提案を承認。
- (三) 通関実務者研修会を11月中に開催することを決定。
- (四) その他。

11月26日（月）

- (一) 通関委員会より、前回の理事会で承認された陳情書を提出し、さらに11月26日付けで同文の陳情書を大蔵省国際金融局長あて提出したとの報告、及び11月20日に雑誌の大口取扱い業者に標準外についての説明をおこなった旨の報告があった。
- (二) 前回理事会で決定された通関実務者研修会は12月4日2時から4時まで学士会館で開催する旨の報告があった。
- (三) その他。

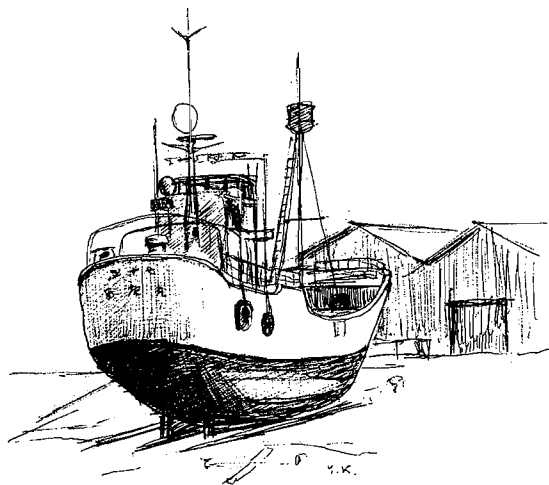
12月10日（月）

- (一) 米国化学会出版物の取扱いについての化学情報協会との交渉について、鈴木小委員長（三洋出版貿易）から報告があり、さらに交渉の継続が委任された。
- (二) ダイレクトリイ委員会から、ダイレクトリイ1980年版は進行中であるが、Kraus Reprint、Liechtenstein

の総代理権出版物が1,300点以上ふえたため、それだけで25pp. ないし30pp.(印刷費で30万円ないし40万円) ページ数がふえることとなるので、同社の出版物の掲載はとりやめ、説明を加えて「各社へお問合せ下さい」と印刷したい旨の提寄があった。けっきょく同委員会が関係各社へこの旨を伝えることとなった。

- (三) 新年懇親会を1月9日5時から外国特派員クラブで開催することに決定。

- (四) 11月分収支計算・予算対比表の検討。総務委員会の報告を承認。



ブック通関実務者研修会開催について

去る12月5日、2時～4時の約2時間にわたり、本郷の学士会館において、通関委員会主催により、(外郵)ブック通関実務者研修会を開催した。JBIAメンバー30社約40名が集り、

(1)外郵ブック通関の主旨

(2) 〃 〃 実務

(3)雑誌大口前金送金と「標準外決済許可申請」について

などの説明と、これに対する質疑応答が行われ、盛会であった。

昭和49年4月に、郵便による書籍等の輸入通関制度が整備され、その後昭和50年5月に「ブック通関実務研修会」が開催されているが、今回はそれ以来のものである。

この間、JBIA各社においても通関担当者の交替など、通関実務の研修が必要なケースがあったと思われ、また外郵からも、外郵に来所するJBIAメンバーのうち、きめられた手続きの履行が不十分な向きもある、とのご指摘もあっていたので、上記研修会を開催した次第。

郵便による輸入書籍、雑誌の通関については、JBIAメンバーにより、外郵に対し、

(イ)事後処理適用願

(ロ)誓約書

を毎年提出し、これによって「通関手続きの便宜扱い」を許可されている。我々としては、便宜扱いの適用を受けるためには、誓約書の所定事項を忠実に守ることが前提になっている。元来、郵便物通関の際には、貨物の通関と異なり、税関と輸出業者との間に専門の通関業者が介入することは殆んどなく、通関手続の素人が直接税関と接しているわけで、それだけに郵便通関の実務につい

ては良く知っておく必要がある。幸い昭和52年に外郵担当官のご尽力で「輸入書籍類の通関手続きの便宜扱いについて」というパンフレットが発行され、外郵における外国書籍・雑誌通関手続きの内容、主旨についてのくわしい手引が出来上っている。その後多少の変更はあるが、我々としては、これを基本にして通関処理が出来るので、今回の研修会も、このパンフレットをテキストとして使用した。

この研修会では更に、昨年3月1日以降実施となった「標準決済方法の改正」に伴い、外国雑誌大口前金送金が、従来とは異なった特別措置をとらねばならない事情や、通産省へ事前許可申請（「標準外決済許可申請」）を提出しなければならない理由などについても同時に説明を行った。

現在、年間の輸入郵便物は8,000万件にもなり、このうち殆んどが書籍、雑誌の郵便物で占められる由。この膨大な輸入書籍、雑誌を到着の都度いちいちチェックし、通関することは物理的不可能であり、そのため数年前、新しい「ブック通関制度」が整備、確立されている。これによって税関としては、(1)外国為替管理の上で、(2)公共の風紀の問題としても、(3)輸入統計把握の上からも、その本来の目的を果し、同時に、税関も円滑に業務を遂行し得る方法が確立されたわけである。

今後、海外諸国との取引は更に盛んになり、書籍、雑誌の輸入も増加すること必至で、我々にとっても郵便通関制度の存在と意義は益々大きくなると思われる。それだけに、我々としては、この制度を正しく理解し、忠実に履行してゆかねばならない。

(通関委員会 佐野記)

出版流通改善試論 —取次の立地からその問題点をさぐる—

寺林修著 出版研究センター刊 昭和54年11月発行 ¥700

出版産業の世界は、今流通の問題で、種々の困難に直面している。とにかく何かを克服しなければならないのに「日本の伝統的な政策選択の方法は事態を放置する事である。」という選択によって、まだ当分喧々がくがく議論だけが続くものと思われる。

流通は一種のサービスである。日本には、サービスは無料という観念がある。しかし、それでよいのだろうか。この本の筆者は「流通というサービス過程が価値を生まない」という観点からこの問題をみるかぎり流通費の分析は不可能と断言する。なぜなら「流通過程は顧客の価値獲得への一助となる働きをするのであるから、その活動は一種の付加価値である」からである。

筆者は書名のサブタイトルにもある様に、ある有力取次店に勤務する人であるが、当然その立場からの事実と視点とをもって、この本の全体が論述されている。

取次の機能には大きく分けて(1)配送機能(2)補給機能(3)金融機能の3つがあるという。(1)はパターン配本などまとまったものの処理作業で(2)は一冊一冊の客注品の送本作業である。問題は(1)と(2)では流通経費がまるで違う事である。交通機関で言えば、(1)はバスや電車の様な一括輸送であり(2)はタクシーの個別輸送である。バス代でタクシーの便宜を求める事に無理があるわけであるが、「出版物は公共的文化財」といった論理の前に、具体的メスを入れないままになっている。この様な問題が山積しそれらを「伝統的放置の政策」のままにしている業界の現状をにらみながら、しからば、せめて紙の上で問題解決の実験をしようというのがこの本である。筆者はこれ等の実験を「思考実験」と呼び、思いきった実験をしている。(発行元の出版研究センターは千代田区神保町2-11、Tel 261-5883)

(SSD.S.N.)

海外ニュース

(Publishers Weekly 11月12日号より)

「米マクミラン社の合併騒動終結」

アメリカのMacmillan Inc.の合併問題は、American Broadcasting Companies, Inc. が、既報の Mattel Inc.を上回る好条件を出してすでに両社の取締役会では基本的に合併に同意したことが発表されたが、その9日後の11月21日にABC社側がその申し入れを撤回し、合併話は打ち切られた旨発表された。その理由については両社とも口を閉ざしている。

Macmillan Inc.はその後、今後は合併の相手をさがすようなことは一切せず、主要業務たる出版事業に専心すると発表している。

(Publishers Weekly 12月3日、10日号より)

——紀伊國屋書店提供——

「ハーパーがUTBと提携」

アメリカのHarper & Row社は、西ドイツのUni Taschenbuecher GmbHと契約を結び、Uni Taschenbuecherの出版物の英語版を出版して全世界に供給することになった。Uni Taschenbuecher社は、西ドイツおよびスイスの17の学術出版社の協力のもとに設立され、傘下の各社の程度の高い大学教科書向きの本を廉価なペーパーバックでUTBというシリーズ名で出している。1970年創立以来すでに約680点ほど出しており、今年は約90点出版した。

Harper社は2年ごしの交渉で今度の契約にこぎつけたが、英訳本はUTB International Seriesという名で出版されることになった。

EDWARD ARNOLD LTD.

41 Bedford Square, London, WC1B

“アーノルドの現在あるのは、すべて私の前任者達の本というものは、すべて良書であるべきだという見識を失わなかったからである”とは現在の会長で、社長も兼任しその多忙さにもかかわらず、自社の出版物は草稿の段階ですべて目を通すというアンソニー・ハミルトン氏の言葉である。

一般には専門書とスクールテキストの出版で有名なアーノルド社は、1890年詩人であり評論家としても有名な Mathew Arnold の甥であるエドワード・アーノルド氏によって設立され、現在年間およそ200点の新刊を出している英国では中規模の出版社である。

設立当時の最も有名な著者はE.M.Forsterで、1924年フォースターの最も有名な作品“Passage to India”が出版された時、両者の関係は頂点に達したといわれる。1930年アーノルド氏は引退し、第一次大戦後経営に加わった二人のパートナーに会社は引きつがれ、その後の10年間は出版界にとって困難な時代であったが、アーノルド社も例外ではなかったようである。そのような時に H.A.L.Fisher's History of Europe という一冊の本がアーノルド社の苦難を乗り越えるため大きな力になったといわれる。

第二次大戦後、アーノルド社のテキスト類の充実が、

その活動の重要部分を占めることは間違いないが、単なるテキスト出版社ではなく、全出版物の60%が医学、生物、化学、社会、人文科学の高度な専門書で、1920年代に初版が出版され、現在も第六版を重ね、今だに売れつづけているものに Topley's Principles of Bacteriology がある。対照的に小さな本ではあるが、ライフサイエンスを専攻する学生にとって非常に貴重なシリーズで、すでに100タイトル以上に及ぶ英国の Institute of Biology 編纂の Studies in Biology がある。そして言語学の分野でも Gimson, Crystal, Quark, Wilkins, Halliday 等の日本でも有名な著者達の労作をリストに含んでいる。

再びハミルトン氏の言葉を借りれば“当社は生命力の短かい新刊書に頼るよりも、できるだけ長く市場に存続しうる良書をつくることに重きをおき、事実1976年の総売上げの78%が既刊書によるものである、だからといって新刊書の製作をおろそかにし、会社の発展に不熱心なのでなく、一步一步着実に進むというのが会社の方針である。”

(Edward Arnold 社は1973年よりマクミラン出版社—代表 田所義丸—が日本での Agent)

来日外人名簿

- 11月上旬 M. Gérard Choquet, Directeur Presse, Directeur
Zone Sud, Grupe International HACHETTE,
PARIS
M. J. Michel Pravaz
- " Mr. Anthony W. Craven, Senior Vice-President,
Academic Press, Inc., NEW YORK
- " Mr. William S. Hein, President, Messrs. Wm. S.
Hein & Co., Inc., BUFFALO
- " Mr. George Schall, Manager, Asia and Japan
International Department, Harper & Row,
Publishers, Inc., NEW YORK
- " Mr. Maurits Dekker, Chairman, Marcel Dekker,
Inc.
- 11月中旬 Mr. Stephen P. Birtles, Representative for East
Asia, Collins Publishers, LONDON
- 11月下旬 Mr. Tom Hickey, Manager, Back Issue Dept.
Messrs. Wm. Dawson & Sons Ltd., FORKE-
STONE
- " Mr. Anthony Kinahan, Marketing Director,
Sweet & Maxwell Ltd., The Stevens & Sons
Ltd., HAMPSHIRE
- " Mr. Robert E. Ewing, President, Van Nostrand
Reinhold Co., NEW YORK
- " M. Jean-Pierre Michaud Dicter Es-Lettres,
D'Hachette, PARIS
- " Mr. Rolando Lam, President, Litton Educa-
tional Pub., Inc., NEW YORK
- Mr. & Mrs. W. Bradford Wiley, Chairman and
Chief Executive Officer
- Mr. Charles B. Stoll, Vice-President, Inter-
national Group and Secretary, John Wiley &
Sons, Ltd., NEW YORK

通関統計

外国貿易概況（大蔵省関税局編、日本関税協会発行）

1979年8月号記載。

書籍、新聞、雑誌の輸入額。

（単位：100万円 \$1,000）

昭和55年8月 ￥1,338 1月以降累計 ￥12,028

" \$6,191 " \$57,295

（註）この統計は、CIF 価格で10万円以下の少額貨物は
含まない。

おしらせ

下記のドイツ人が日本の書店で2～3年働くこと
を希望しています。

氏名 Konrad Badde（国籍：ドイツ連邦共和国、
1950年10月生れ）

教育 フランクフルトのドイツ書籍商学校（Deutsche
Buchhandlerschule）卒業。

言語 独、英、仏、西

略歴 ミュンスターのPoertgen Herder書店に4年間
勤めたのち、バルセロナのHerder書店で1年
間、ロンドンのFoyleおよびDillon's University
Bookshopで9か月間、パリのW.H. SmithのThe
English Bookshopで2年間働いたのち、1977
年1月以来メキシコ・シティのLibreria Inter-
nacional, S.A.（国際部門の責任者）に勤務し
ています。（お問合せは事務局まで）

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。

お手許のAgent Listにご記入願います。

丸 善 株 ☎ 272-7211

Accident Three Mile Island: The Presidential Report. '79.
(Pergamon Press) ￥7,250

Accident Three Mile Island: The Technical Staff Analysis
Report. '80. (Pergamon Press) ￥159,500

IPC Science & Technology Press -- all publications --

Smillie, I.S.: Diseases of the Knee Joint. 2nd ed. (Chur-
chill-Livingstone) ￥21,120

Burian, H.M. & Von Noorden: Binocular Vision and
Ocular Motility. 2nd ed. (C.V. Mosby) ￥17,550

The Book of the States, 1978-79 ed. '80. (The Council
of State Governments) (W.S. Hein) ca. ￥5,090

The Book of the States, 1979-80. ed. '80. (The Council
of State Governments) (W.S. Hein) ca. ￥5,090

United Nations Conference on the Law of the Sea:
Official Records. (16 vols. in 8 books)

1st Conf. 1958 (7 vols. in 4 books)

2nd Conf. 1960 (2 vols. in 1 book)

3rd Conf. 1973-1977 (7 vols. in 3 books)

(W.S. Hein) set: ca. ￥50,750

Laurence Urdang Associates (ed.): Longman Dictionary
of English Idioms. '79. (Longman, London) .. ￥3,630



英語版

音楽百科の最高権威、いよいよ刊行！ 新グロブ世界音楽大事典 全20巻

The New GROVE Dictionary of Music & Musicians

編集責任者：スタンリー・セイディ（ザ・タイムズ紙音楽批評家） 発行：英国マクミラン社
15.5×25.5cm 15,000ページ・22,500項目・図版3,000／クロース装幀

第1回 配本：第1巻本年2月 第2回（6月）、第3回（7月）、第4回（9月）、
第5回（10月完結） ※各4～5巻づつ配本予定

全巻揃いご予約特価：300,000円（本年4月末日まで）定価 380,000円

ご予約の方に本年4月イギリスで出版される

「グローブ伝」（320ページ・予価 6,770円）を無料進呈いたします。配本7月頃

音楽と書物をこよなく愛する方へ——

国際的に余りにも著名な、英語で書かれた唯一の音楽大事典“Grove”が、内容を全く一新して、新生“New Grove”として、英国マクミラン社よりいよいよ刊行。古代・中世・ルネッサンス音楽、さらにはジャズ、ポピュラーまでの音楽百般の知識を、2,000名に及ぶ世界の一流専門家の明解な英文による解説と美しい図版により集大成。

全巻に100年の歴史が輝き、1頁1頁が豊かな知性を奏でる音楽愛好家、愛書家待望の豪華大事典です。

〔詳細資料のご請求は、弊社本支店・販促課(係)までお申しつけ下さい〕

日本総代理店

M 丸善

東京本店：〔千103〕東京都中央区日本橋2-3-10 ☎(03)272-7211 振替東京7-5番

支店・営業所：東京(お茶の水・丸の内・内幸町・浜松町)・札幌・旭川・仙台・弘前・秋田・盛岡・山形・郡山・筑波・八王子・横浜・静岡・名古屋・金沢・京都・滋賀・大阪・神戸・姫路・岡山・松山・広島・山口・福岡・長崎・鹿児島・沖縄／ニューヨーク・シンガポール

■丸善洋書コーナー：新宿伊勢丹・池袋芳林堂

昭和55年1月

通巻第153号

洋書輸入協会

編集者 寺久保一重

☎ 103

東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル302号室

☎ 271-6901

☎ 530

関西支部

大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル

☎ 371-5329